

花巻市博物館テーマ展「多田等観－遙かなるチベット－」 ～5月25日から7月7日まで開催～

多田等観（ただとうかん、1890-1967）は秋田県秋田市出身の世界的なチベット学者です。ダライ・ラマ13世と師弟関係を結び、10年にも及ぶ現地での修行生活の末、チベット仏教に関する膨大な資料を日本にもたらしました。チベットより請来した数々の秘仏や世界的にも貴重な仏画などが、平成6年（1994）に花巻市へ寄贈されてから今年でちょうど30年目を迎えます。これらのコレクションは、これまで花巻市博物館の所蔵資料の目玉として大いに注目を集めてきました。

本展では、これを記念して当館が所蔵するチベット仏教に関する貴重な資料と共に、等観と縁が深い円万寺観音堂などが所蔵する資料を、特別に展示します。また、戦中、チベット請来資料の疎開から始まった花巻の人々との交流について、等観の日記や手紙などから紹介します。

1 テーマ展の概要

■開催期間 5月25日（土）から7月7日（日）まで
午前8時30分から午後4時30分まで（会期中無休）

■開催場所 花巻市博物館 企画展示室

■入館料 通常料金で観覧できます。
一般350円／高校生・学生250円／小学生・中学生150円
※20名以上の団体は上記料金から50円引きとなります。

■展示内容 現代の三蔵法師とも言うべき偉業を成し遂げた等観が、日本にもたらした資料を通して、改めて等観の功績を顕彰するとともに、等観と花巻の人々との心温まる交流について紹介します。

当館が所蔵する多田等観のコレクションの中でも、とくに目を引くのが全25幅にもなる『釈迦牟尼世尊絵伝』です。これは釈迦の生涯にまつわるエピソードを描いたもので、一般的には9幅セットが普及していますが、このような大規模なセットは世界的にもほとんど類がない、非常に貴重な資料です。



帰国後の多田等観



『釈迦牟尼世尊絵伝』展示風景
(写真は過去のもの)

2 関連イベント

◆ギャラリートーク

日時：6月1日（土）、7月7日（日）
各 午後1時30分～午後2時30分
場所：花巻市博物館 企画展示室
※申込み不要、入館料がかかります。

◆学芸員講座「多田等観と『釈迦牟尼世尊絵伝』」

日時：6月9日（日）午後1時30分～午後3時
場所：花巻市博物館 講座・体験学習室
定員：20名（申込み必要、聴講は無料です）
申込：花巻市博物館まで電話で申込み



博物館
ホームページ